クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス

Email Security R2 あんしんプラス

導入手順マニュアル

Version 1.1

日本事務器株式会社

改版履歴

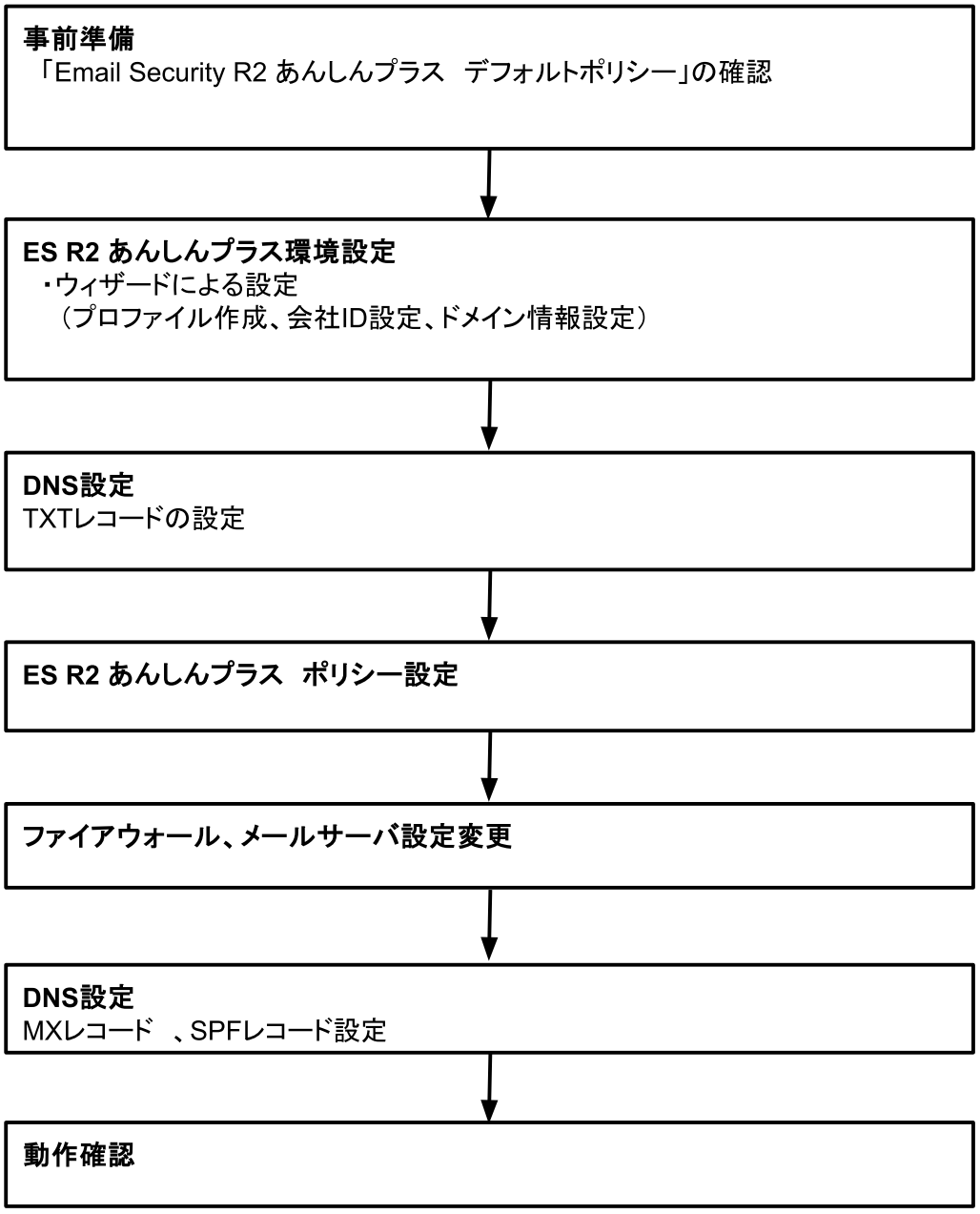
Version	日付	変更内容
1.0	2020/07/17	新規作成
1.1	2025/08/06	コンソール画面変更のため修正

目次

1. はじめに

本マニュアルは、Email Security R2 あんしんプラス（以下「ES R2 あんしんプラス」と称す）の導入手順マニュアルです。導入までの手順について説明いたします。

2. 導入の流れ



3. 設定

3.1. ログイン

お客様サイトへのログイン情報は別途メールをお送りしております、
「[通知] あんしんプラス　アカウント登録完了のお知らせ」 に記載されております。

サービスを利用するには、下記のURLからログインしてください。
* ログインURL：https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T

メールに記載されているURLへアクセスし、アカウントとパスワードを入力してログインします。

※あんしんプラスサービス（VBBSSやCloud Edgeなど）を既に導入している場合
　→アカウントとパスワードは同じになります。
※ES R2 あんしんプラス以外にあんしんプラス製品を導入していない場合
　→「[通知] あんしんプラス　アカウント登録完了のお知らせ」よりログインID（アカウント）を確認してパスワードの発行をおこないます。

アカウントの登録が完了しました。すぐにサービスをご利用できます。

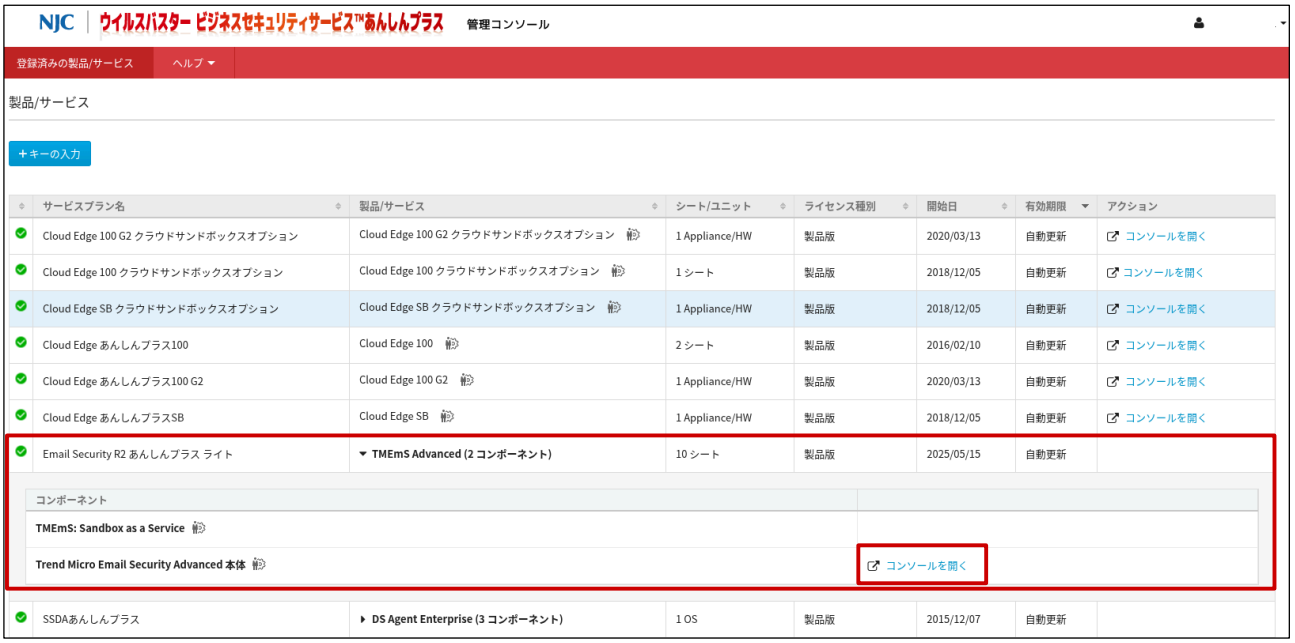
【ログインID】

【パスワード】
はじめに次のURLをクリックし、パスワード発行の手続きを行ってください。
https://forgetpwd.trendmicro.com/
※このURLは7日間のみ有効です。

サービスを利用するには、下記のURLからログインしてください。
* ログインURL：https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T

ご不明な点などございましたら、下記のサポート窓口までお問い合わせください。

ログイン完了後、Email Security R2 あんしんプラスの「コンソールを開く」をクリックします。

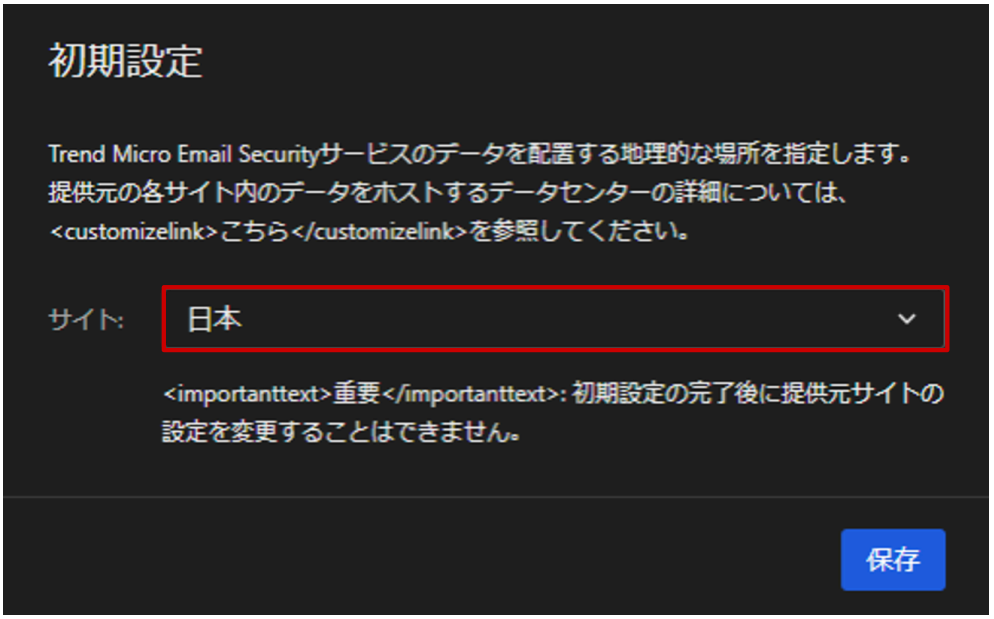


3.2. ライセンス契約の同意

内容を確認していただき、ライセンス契約に同意

3.3. 設定ウィザードによる設定

①初期設定をします。
データを配置するサイトを選択します。
日本国内においては”日本”サイトのみサポートを提供いたします。そのため、こちらの選択画面ではプルダウンメニューより ”日本” を選択し、「保存」をクリックします。



②管理者プロファイル情報を入力します。
名前の姓と名、メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

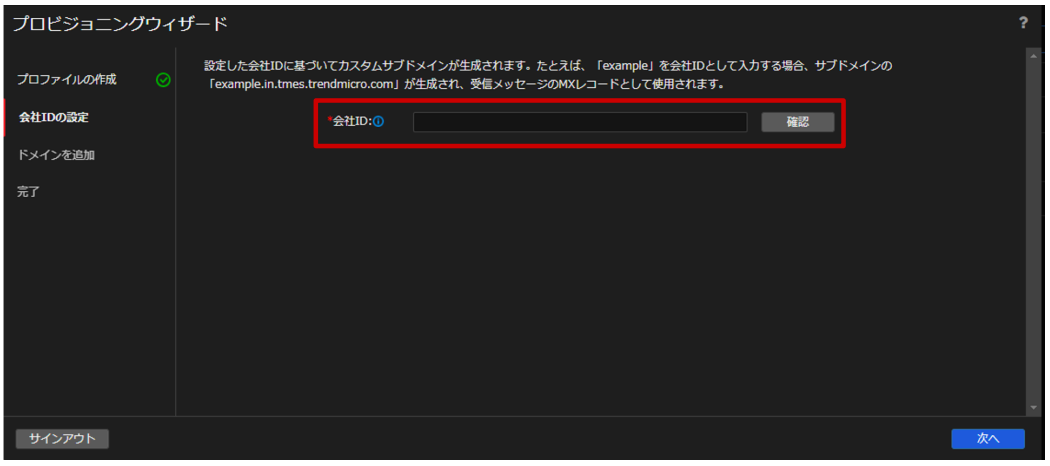
③会社IDを設定します。
この会社IDに設定する内容に基づき、企業のサブドメイン・MXレコードが作成されます。
１度設定された会社IDは変更することができませんので、ご注意ください。
例:”example”と設定した場合、”example.in.tmems-jp.trendmicro.com”となります。

会社IDについては、3～63文字まで定義可能となり、使用できる文字は英数字とハイフン(-)になります。

「会社ID」に任意の文字列を入力し、「確認」をクリックし、入力した会社IDが使用可能かどうか確認します。

※会社IDが重複している場合には、エラーが表示されますので、その場合は別の会社IDを入力して、再度確認を実施してください。

エラーが表示されなければ「次へ」をクリックします。



④ドメイン情報を追加します。
保護するドメイン情報を設定します。

各項目に必要情報を入力してください。
（1）お客様ドメイン名（必須）
（2）お客様メールの受信サーバの環境情報（必須）
「IPアドレス/FQDN」
「受信ポート」（SMTP：25番、MSA：587番、SMTPS：465番）
「プリファレンス値」（受信メールサーバの優先度。値が小さいほど優先度が高い。）
※多数のメールサーバを用意して負荷分散や耐障害性向上を図っている場合

【参考】
・受信サーバがGoogle Workspaceの場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
smtp.google.com	25	1

・受信サーバがMicrosoft365の場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
<domain>.mail.protection.outlook.com	25	1

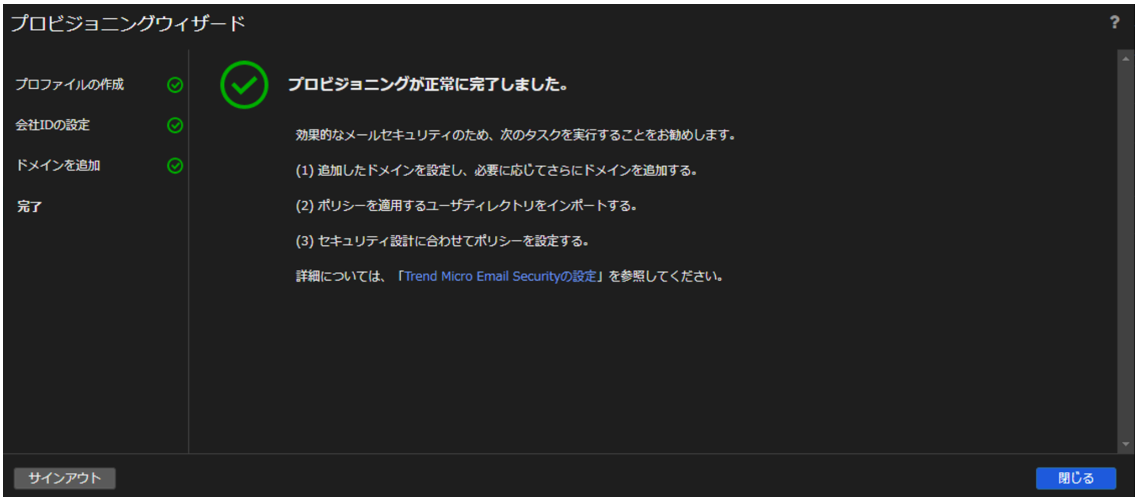
※<domain>部にはお客様のドメインをご記入ください。

（3）お客様メールの送信サーバの環境情報（任意設定）
送信メールの保護を有効にする場合、「送信保護を有効にする」へチェックを付けて送信メールサーバの環境情報を入力します。

各情報を入力し、「次へ」をクリックします。

⑤ウィザード設定完了

設定が完了すると、以下の画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。

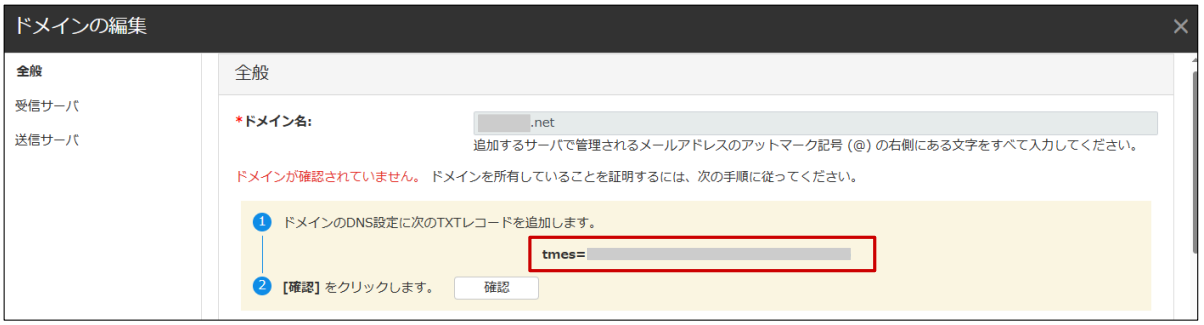


3.4. DNSへTXTレコードの設定

①設定するTXTレコードを確認します。

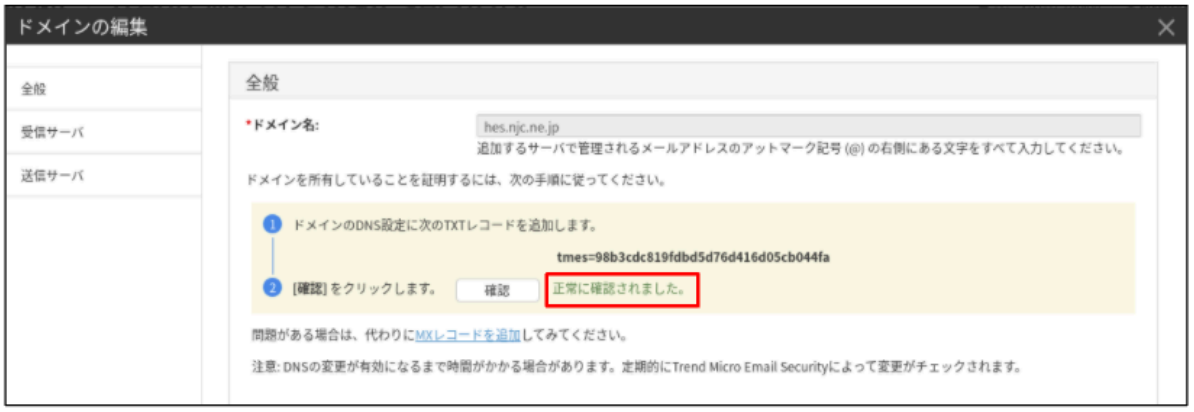
「ドメイン」を選択し、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

②「ドメインの編集」画面が表示されます。
「ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。」の下にあるTXTレコードに設定する「tmes= 」 で始まる値を控えます。



③DNSへ手順②で控えたTXTレコードを設定します。
DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへTXTレコード設定後、「確認」をクリックします。
「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。
注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合
少し時間がたってから再度確認してください。



3.5. 受信保護設定

「受信保護設定」をクリックして各設定を行ってください。

※「Email Security R2 あんしんプラス　トレンドマイクロデフォルトポリシー」を参考に
お客様の要件を確認して設定してください。

各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

3.6. 送信保護設定

※「Email Security R2 あんしんプラス　トレンドマイクロデフォルトポリシー」を参考に
　お客様の要件を確認して設定してください。

各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

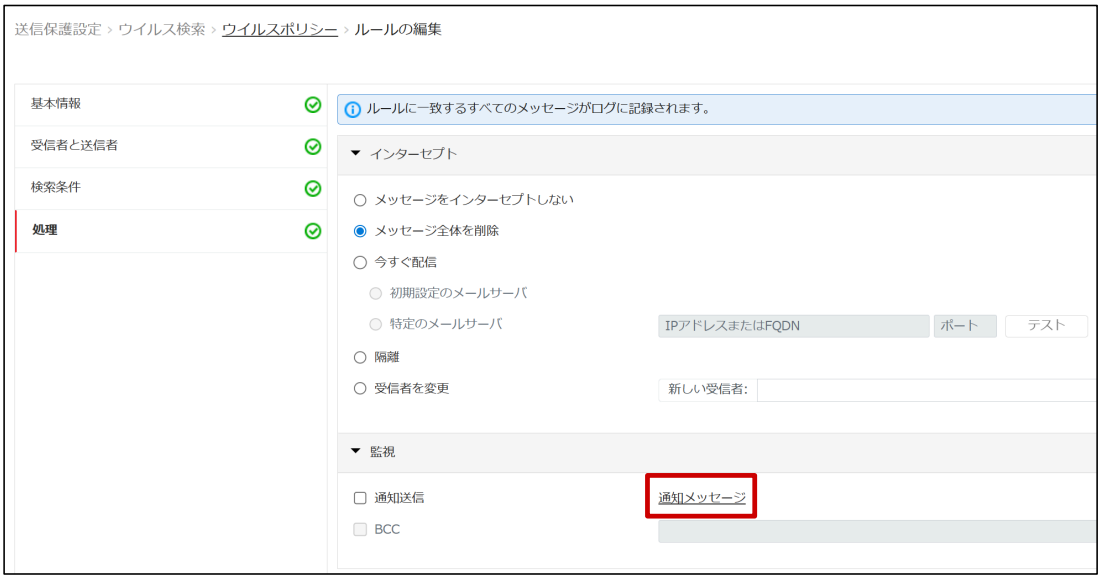
Email Security R2 あんしんプラス スタンダードをご契約いただき、送信保護設定をご利用の場合、各ポリシーの通知送信にチェックを入れていただき、次の通知設定をおこないます。

例　ウイルスポリシーの通知設定

（1）「送信保護設定」のウイルスポリシーをクリックします。

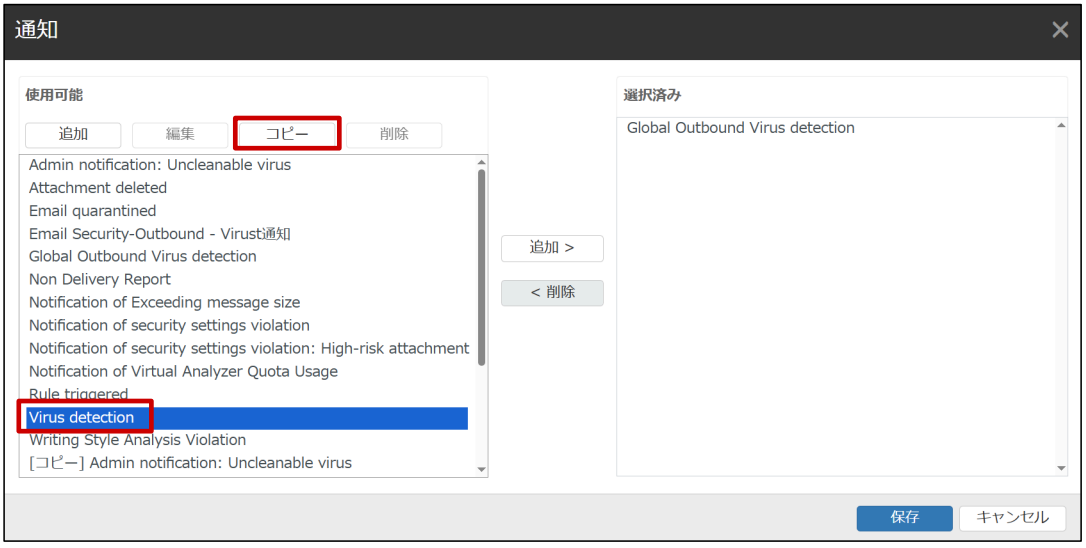
（2）設定するルールをクリックします。

（3）「処理」の「通知メッセージ」をクリックします。

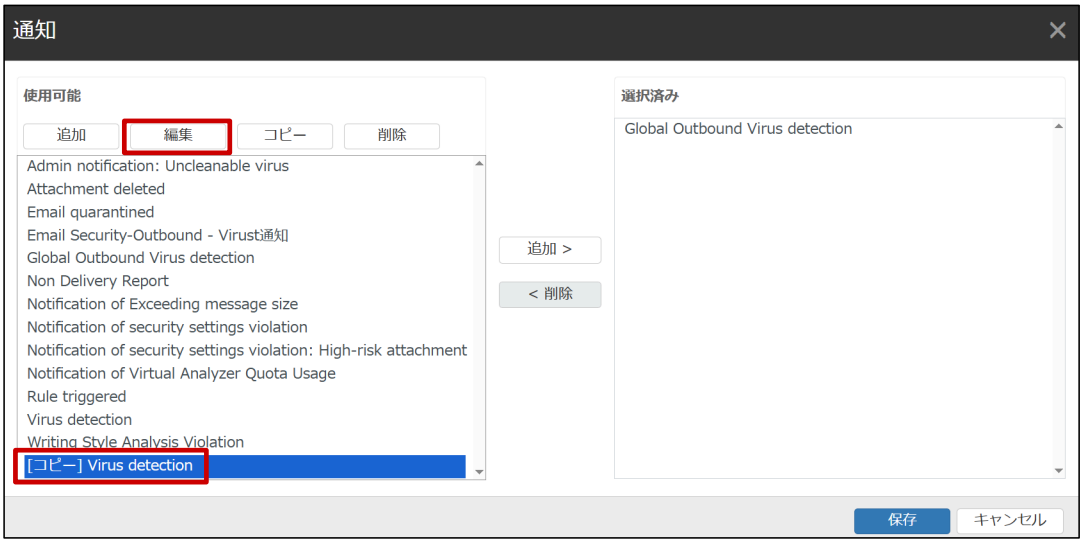


（4）ルールに対応したメッセージを選択し、「コピー」をクリックします。

※例　ここでは「virus detection」を選択します。



(5) コピーされたメッセージを選択し、「編集」をクリックします。



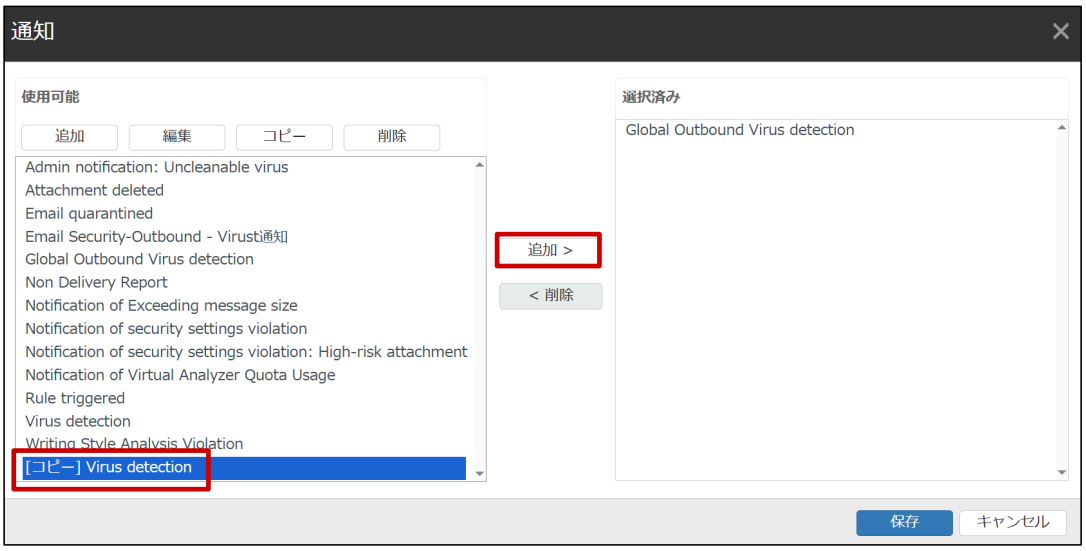
(6) 通知の編集の各項目に入力し、「保存」をクリックします。

差出人：ご担当者様のメールアドレス
宛先：anshin-support@njc.co.jp;nishinami@njc.co.jp
※受信者にチェックが付いている場合、チェックを外します。

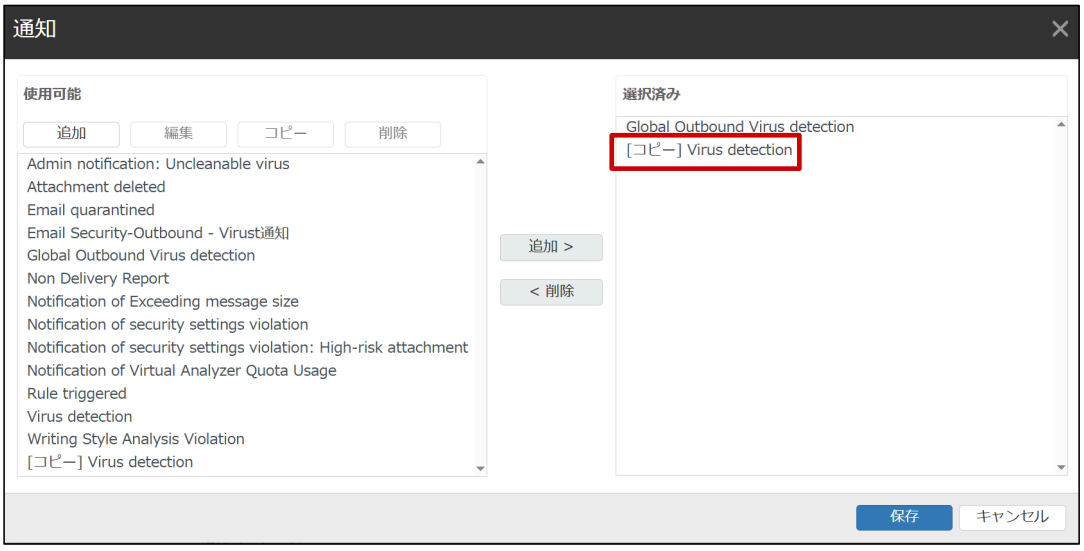
(7) 「管理」の「通知」画面になりますので再度、「送信保護設定」の「ウイルスポリシー」をクリックし、設定しているルールをクリックします。

(8) 「処理」の「通知メッセージ」をクリックします。

(9) コピーして編集したメッセージを選択し、「追加>」をクリックして、選択済みに移動します。



（10）選択済みに移動したら、「保存」をクリックします。



同じ手順で各ポリシーに通知メッセージの設定をします。

3.7. 隔離設定

「隔離」をクリックして各設定を行ってください。
必要に応じて隔離の各設定をします。

各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

3.8. テストメッセージの送信

ES R2 あんしんプラスからテストメッセージを配信します。
動作確認のためのお客様メールアドレス（@前まで）を入力し、テストメッセージが受信できるか確認します。

【注意】
テストメッセージの送信先は空欄でもエラーは発生しませんが、正常にドメイン登録が完了したことを確認する重要な工程のため必ず入力してください。
テストメッセージの受信ができないまま導入を進めた場合、運用開始後にメールが受信できなくなる可能性があります。
テストメッセージが受信できない場合、ファイアウォール等の設定をしてから再度、テストメッセージが受信できることを確認して次の工程へ進んでください。

①テストメッセージを送信します。
「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

②「ドメインの編集」画面が表示されます。
テストメッセージの送信先に受信するメールアドレスを入力して「テスト」をクリックします。

③テストメッセージが受信できたか確認をします。
件名：Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ
送信者：test@tmems-jp.trendmicro.com

3.9. Microsoft 365をご利用の場合

Microsoft 365で管理するドメイン名をES R2（Trend Micro Email Security）へ統合する前に、Microsoftが推奨するすべての手順を実行し、それぞれのドメインに応じてMicrosoft 365のメール管理の設定を済ませてください。

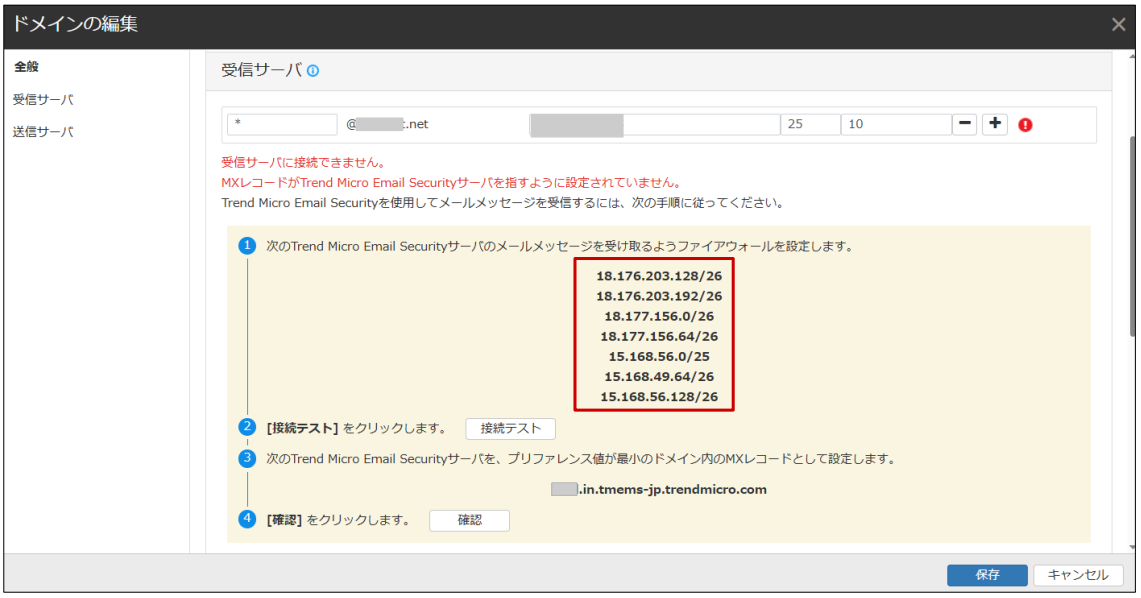
参考
Microsoft 365の受信コネクタの追加
https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-micro-email-security-online-help-adding-office-365-in

Microsoft 365の送信コネクタの追加
https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-micro-email-security-online-help-adding-office-365-ou

4. ファイアウォールの設定変更

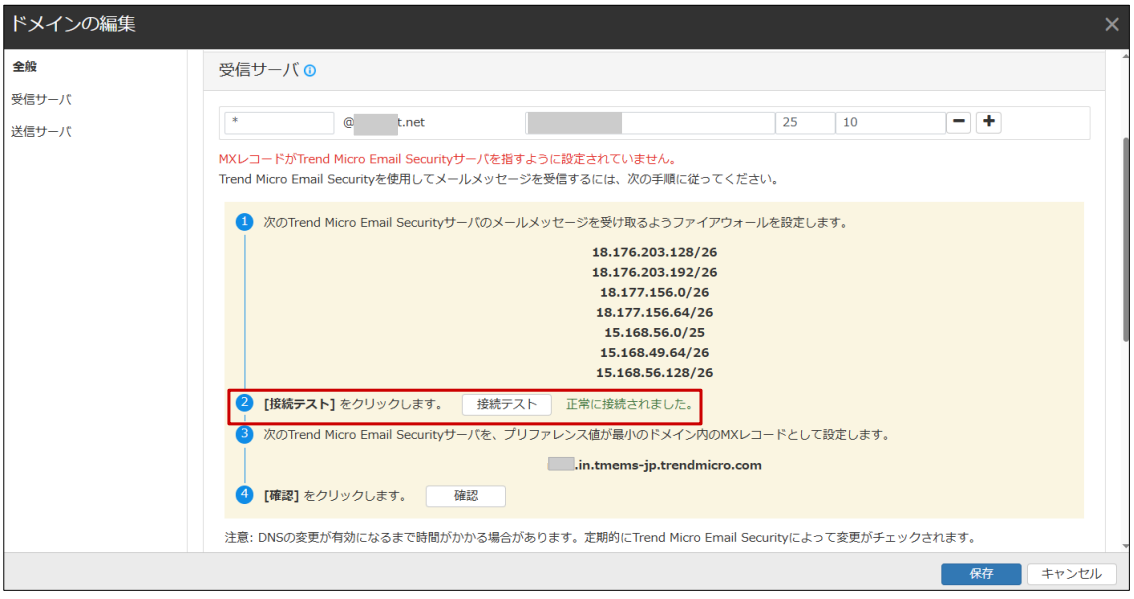
必要に応じてES R2サーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定してください。

許可するアドレスは、「ドメインの編集」-「受信サーバ」の「①次のTrend Micro Email Security サーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。」の下にあるアドレスを設定してください。



※ファイアウォールの管理者へ設定を依頼してください。

❷の「接続テスト」をクリックします。
「正常に接続されました。」と表示されることを確認します。



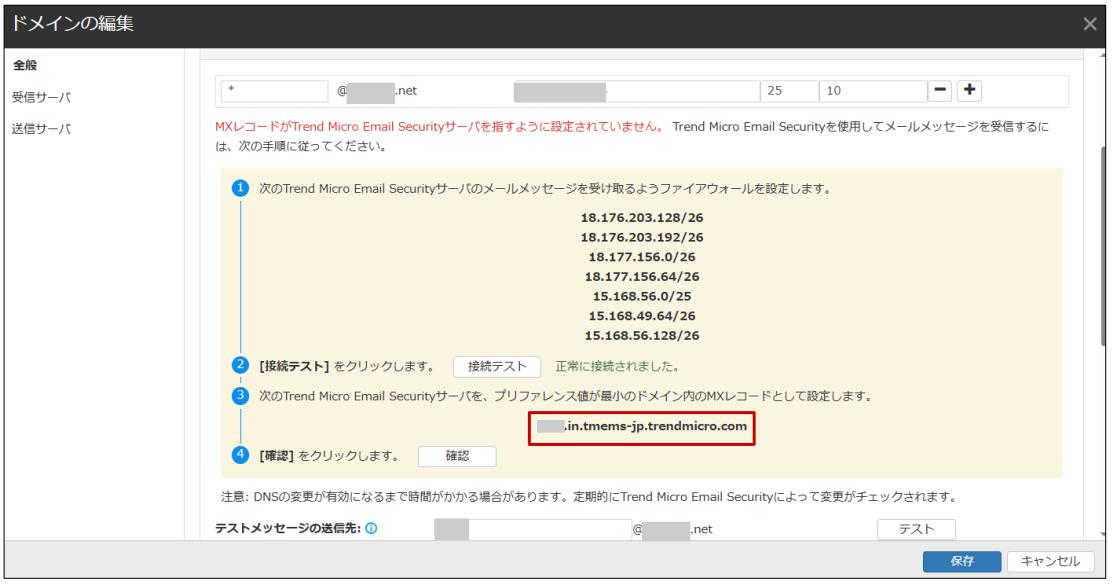
5. DNSの設定変更

5.1. MXレコードの設定

送信保護を有効にする場合は、「5.2. SPFレコードの変更・追記」を確認してDNSへの設定はMXレコードとSPFレコードを同時に設定してください。

①設定するMXレコードの値を確認します。
「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

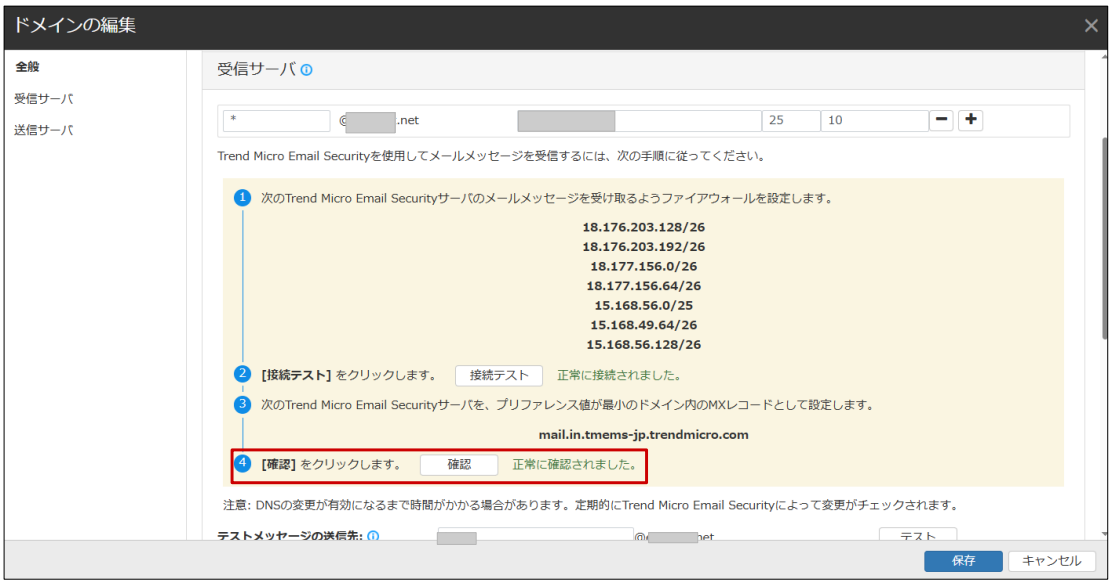
②「ドメインの編集」画面が表示されます。
受信サーバの「次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。」の下にある「xxx.in.tmems-jp.trendmicro.com」 の値を控えます。（xxxはサブドメイン名）



③DNSへ手順②で控えたMXレコードを設定します。
DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへMXレコード設定後、「確認」をクリックします。
「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は
少し時間がたってから再度確認してください。



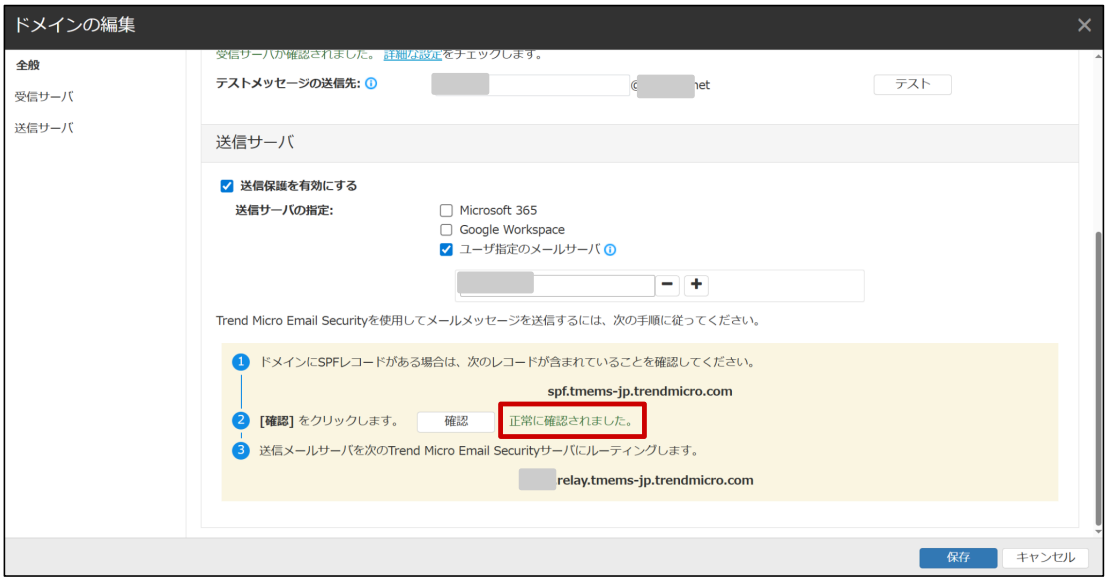
5.2. SPFレコードの変更・追記（送信保護を有効にする場合）

①設定するSPFレコードの値を確認します。
「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

②「ドメインの編集」画面が表示されます。
送信サーバの「ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれれいることを確認してください。」の下にある値を控えます。

③DNSへ手順②で控えたSPFレコードを追加設定します。
DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへSPFレコード設定後、「確認」をクリックします。
「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。
注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は
少し時間がたってから再度確認してください。



6. 動作確認

6.1. ステータスの確認

①管理コンソールへログインします。

②ドメインのステータスを確認します。
メニューバーから［ドメイン］をクリックします。
ステータスを確認します。「完了」の場合は、受信テストへ進んでください。

ステータスが「設定が必要」の場合は、再度「5.DNSの設定変更」を確認してください。

6.2. 受信テスト

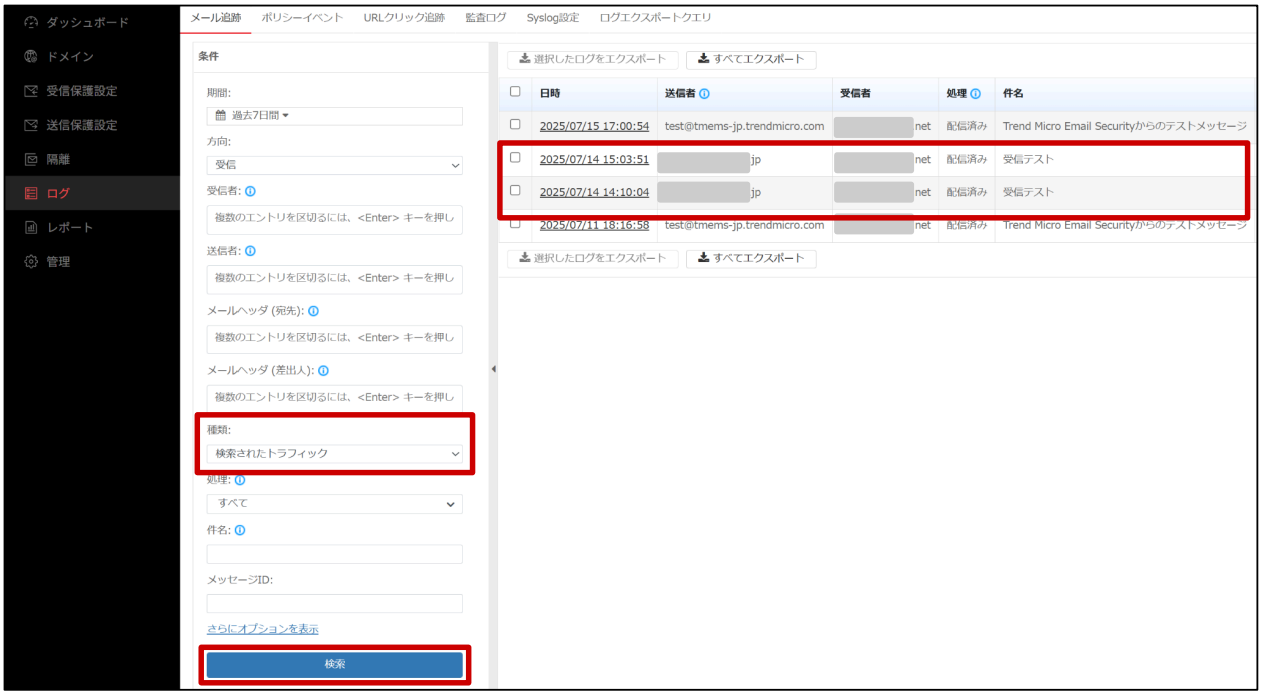
①テストメール送信
他ドメインのメールアドレス（例　xxx@njc.co.jp）からお客様のメールアドレスへテストメールを送信します。

②テストメール受信
テストメールを受信します。

③メールの確認
メールを受信したことを確認します。

④管理コンソールからの確認方法
(1)管理コンソールへログインします。
(2)「ログ」を選択し、「メール追跡」をクリックします。

(3)種類で［検索されたトラフィック］を選択し、下記条件入力後［検索］をクリックします。



検索結果に表示されれば、「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。

6.3. 送信テスト

①テストメール送信
お客様ドメインから他ドメインのメールアドレス（例　xxx@njc.co.jp）へ、
テストメールを送信します。

②テストメール受信
テストメールを受信します。

③管理コンソールで確認
受信テストと同様の手順で条件の方向を「送信」に変更して確認してください。

クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス

Email Security R2 あんしんプラス
導入手順マニュアル

発行日 ： 2025年8月6日
発行元 ： 日本事務器株式会社